

「コールド・ムーン (1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

日本には、月の形状についてさまざまな呼び名が伝わっている。およその月齢と対照すると、以下のような名称がある。

月齢
0 新月・朔 (さく)
1 織月 (せんげつ)・二日月 (ふつかづき)
2 三日月 (みかづき)
7 上弦の月・半月
14 小望月 (こもちづき) 幾望
15 満月 (まんげつ)・望 (ぼう)
16 十六夜 (いざよい)
17 立待月 (たちまちづき)
18 居待月 (いまちづき)
19 寝待月 (ねまちづき)
20 更待月 (ふけまちづき)
21 下弦の月 (かげんのつき)
26 有明月 (ありあけづき)

月齢 16~20 の名称などは、実に日本人らしい風雅な名付け方だと思う。満月を過ぎると、形がやせていくだけでなく、少しずつ (約 50 分ずつ) 月の出の時刻が遅くなる---ということをよく表している。



「寝待月」満月から4日後の月。21時~22時の間にやっと昇ってくる。「寝て待つ月」なので「寝待月」である。真っ赤で猫の眼のようで、不気味な月。

英語では、月の形状に関する細かい表現はあまりない。新月 new moon、三日月 creseent、半月 half-moon、満月 full moon ぐらいだろう。そのかわり「満月」には月ごとに「ニックネーム」がついている。

1月	Wolf Moon (狼月)
2月	Snow Moon (雪月)
3月	Worm Moon (芋虫月)
4月	Pink Moon (桃色月)
5月	Flower Moon (花月)
6月	Strawberry Moon (苺月)
7月	Buck Moon (男鹿月)
8月	Sturgeon Moon (チョウザメ月)
9月	Harvest Moon (収穫月)
10月	Hunter's Moon (狩猟月)
11月	Beaver Moon (ビーバー月)
12月	Cold Moon (寒月)

現在の暦 (太陽暦) でも、満月は1ヶ月の間におよそ1回見られる。稀に1ヶ月に2回満月があるが、その場合の2回目の月は「ブルー・ムーン」と呼ばれる。私はこんな呼び名があることを去年の12月まで知らなかった。2020年12月30日は「コールド・ムーン」の日だったので、撮影してみた。



これが12月30日の満月「コールド・ムーン」だ。とても美しいし、実際に撮影した時、外は氷点下7℃近くあり、確かに「コールド」だった。しかし、この満月の写真を見た人には、「いつ撮影したのか」さっぱりわからず、「単なる満月」でしかない。12月下旬のまさしく「コールド・ムーン」らしい、季節感のある月の写真を撮りたいと思った。